



栗原小だより

新座市栗原 1-5-1 ☎042-473-7070

HP <https://e-kurihara-c-niiza.edumap.jp/>

～学校教育目標～
よく考え学ぶ子
心のゆたかな子
たくましい子



令和6年度6月号
令和6年5月31日

彩の国市長選挙速報

校長 古澤 健史

【6年生が模擬選挙を体験】

5月21日（火）に、新座市選挙管理委員会の協力で「新座市出前講座 模擬選挙体験授業」が実施され、6年生が参加しました。講師で来校された選挙管理委員会の職員から選挙の仕組みや何のために選挙をするのか、選挙に参加しないとどんな困ったことが起きるのかなど講義を受けた後、6年担任2名と教頭が、候補者に扮して候補者演説を行い、6年生は公約を聞いて誰に投票するかを決めて投票を行いました。候補者とその公約は以下のとおりでした。



③埼玉 陸男（さいたま りくお）

地域の経済発展の重要性を訴え、商業施設や国内有力企業の誘致により産業を活性化し、地元で働き住み続けられ、ショッピングモールで好きなものが買える豊かなまちづくりを目指す。



①神奈川 海吉（かながわ うみきち）

地球温暖化と環境問題を取り上げ、自然環境を守り、人や環境に優しい、子どもたちがカブトムシやクワガタ取りを楽しめるエコシティを目指す。



②栃木 花子（とちぎ はなこ）

少子高齢化問題を取り上げ、介護サービスの充実、中学卒業までの医療の無償化、市内の小中学校すべてを少人数学級にし、子どもやお年寄りが安心して暮らせるまちを目指す。



さて、3人の候補者のうちで誰が票を集めたでしょうか。一番票を獲得したのは、経済の重要性を訴えた埼玉陸男さんでした。いつまでも地元に住み続けるためには、地域が発展し、働いて賃金を得る場所や買い物ができる場所が必要だという話に納得した、地域を愛する6年生が多かったようです。質問タイムでは、同数になったらどう決めるのか、投票用紙はいつまでとっておくのかなど、鋭い質問が出ました。

本校では、自分の考えを持ち、自分なりの方法で表現できる児童を育てることを目指しています。今回の学習は、近い将来選挙において、投票する候補者を自分で考えて選び、投票することにつながってくると思います。

本市では、7月7日に新座市長選挙が行われる予定です。我々大人が、将来の市政に向けて、しっかり考えと責任を持ち投票する姿を、範として子どもたちに示していきましょう。